

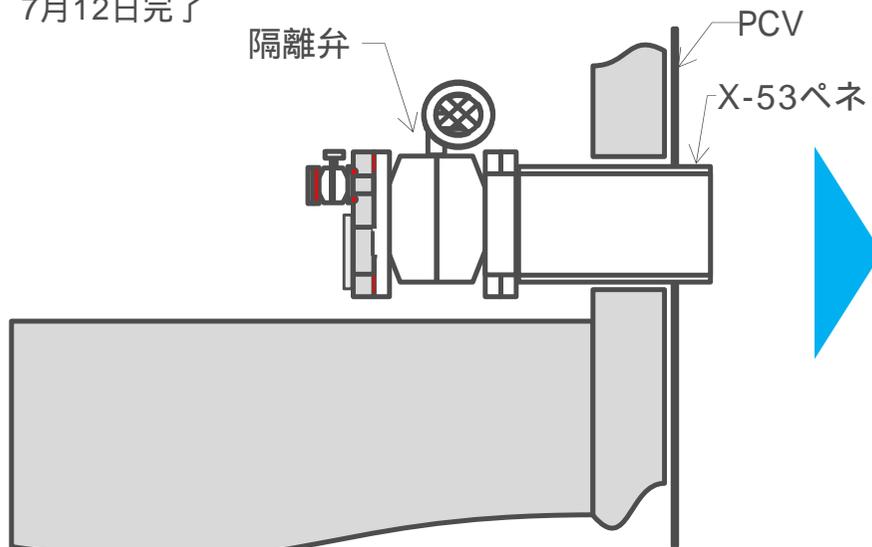
1. 3号PCV内部調査（水中ROVによる調査）

< 参考資料 >
2017年7月13日
東京電力ホールディングス株式会社

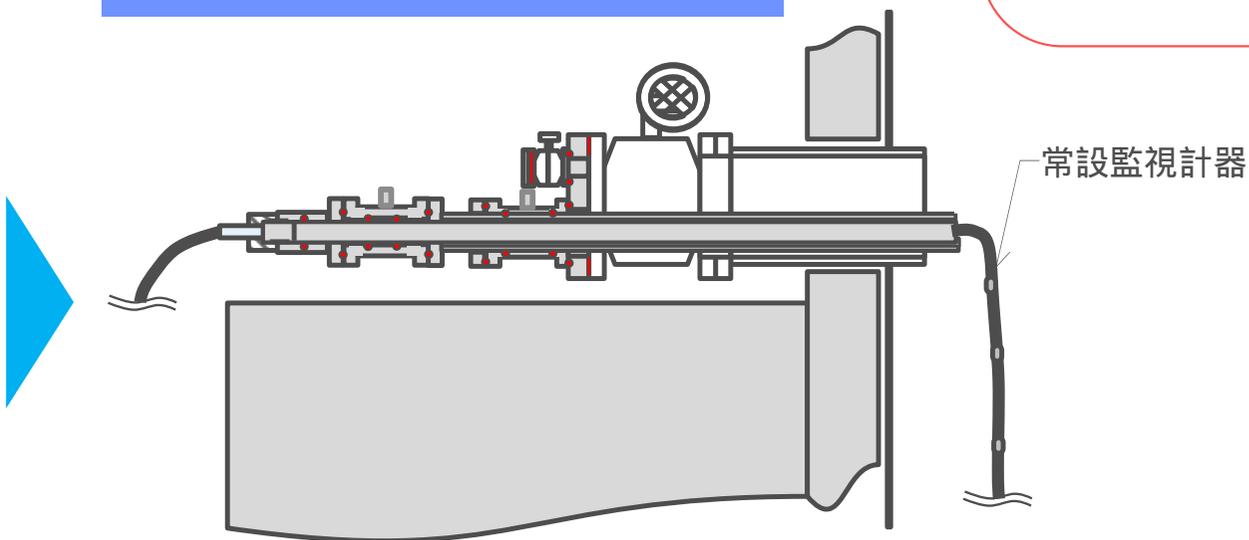


ステップ1. 常設監視計器の取外し

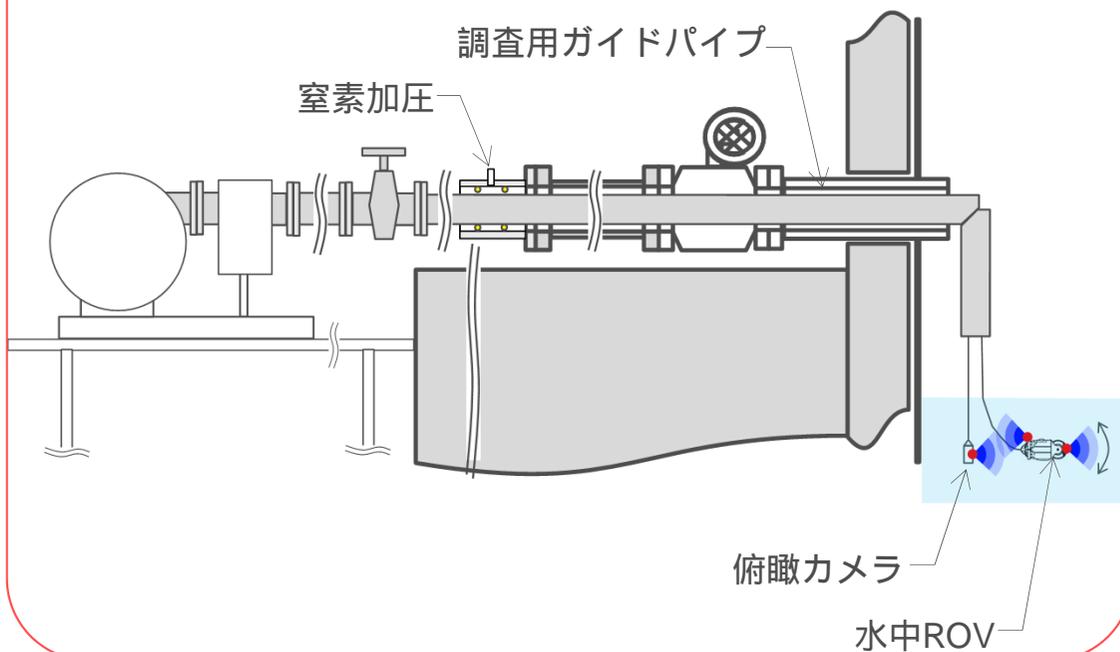
7月12日完了



ステップ3. 常設監視計器の再設置



ステップ2. 水中ROVによる調査



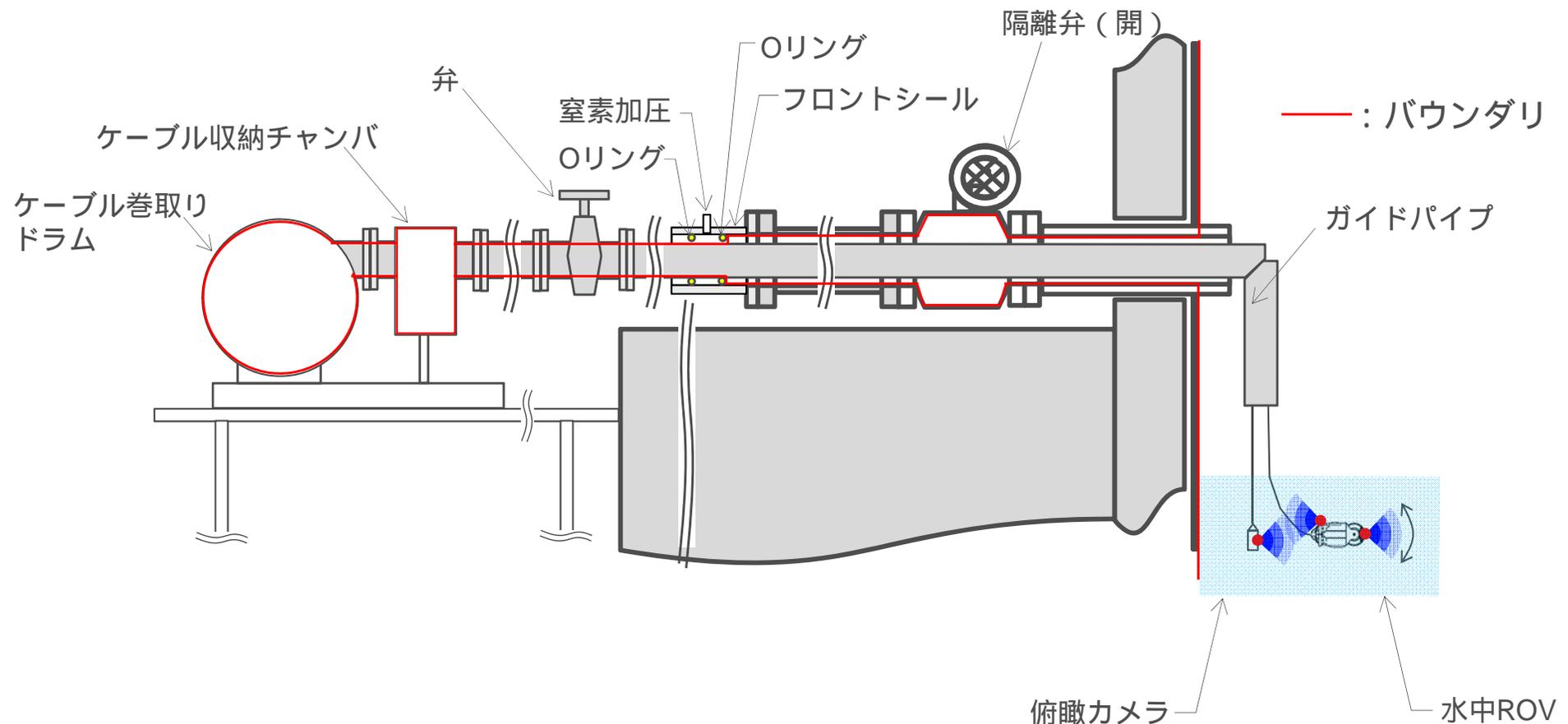
- 炉内の解析結果より、溶融した燃料のうち一部はペDESTAL内へ落下していると推定されていることから、グレーチングの脱落やTIP案内管の切断等ペDESTAL内が破損している**可能性**が考えられる。
- そこで、複数日での調査を実施、まずはペDESTAL開口等からペDESTAL内の状況を確認し、当初想定している調査の優先順位に対して変更が必要ないか再検討後、調査を再開する計画とする。

調査日（予定）	実施内容
19日	調査1回目：ペDESTAL内の状況を撮影
20日	撮影された映像を基に計画変更要否について検討*
21日	調査2回目：検討結果に基づき調査実施

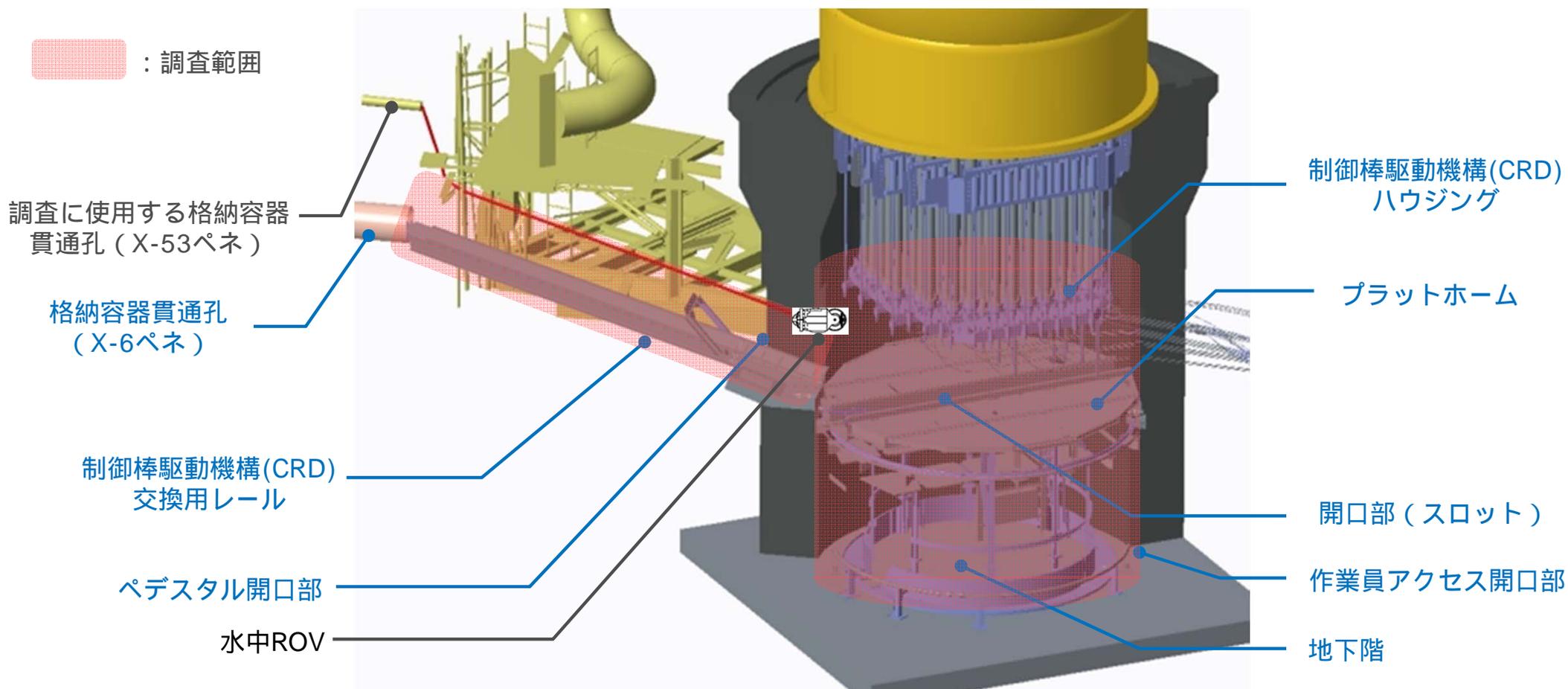
*：計画変更要否を検討している間、水中ROVはX-53ペネ周辺に係留する。

3. ガイドパイプ設置方法

- 調査用ガイドパイプ設置にあたっては、下図に示すように、二重のOリングで封止することに加え窒素を加圧することによりバウンダリを構築し、PCV内の気体が外部に漏れ出て周辺環境へ影響を与えないよう作業する。
- なお、PCV内の気体が外部に漏れ出て周辺環境へ影響を与えていないことを確認するため、作業中にダストモニタによるダスト測定を行い、作業中のダスト濃度を監視する。



【調査計画】： 燃料デブリが存在する可能性のあるペDESTAL地下階について確認を行う。ペDESTAL内次回調査装置への設計・開発フィードバック情報(X-6やCRDレールの状況等)を取得する。



調査概要図